



国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 200P13	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP00/02339	国際出願日(日.月.年)	10.04.00	優先日 (日.月.年)		
出願人(氏名又は名称) パスカル株式会社					
国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。					
この国際調査報告は、全部で 2 ページである。					
□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。 					
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。					
b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。 この国際出願に含まれる書面による配列表					
□ この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表					
□ 出願後に、この国際調査機関に提出された書面による配列表□ 出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表					
□ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述 書の提出があった。					
□ 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述 書の提出があった。					
2. 請求の範囲の一部の調査ができない(第 I 欄参照)。					
3. □ 発明の単一性が欠如している(第Ⅱ欄参照)。					
4. 発明の名称は 🛛 出願	種人が提出したも	のを承認する。			
□ 次に	示すように国際	調査機関が作成した。			
					
_	質人が提出したも	•			
国際	際調査機関が作成		第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ きる。		
6. 要約書とともに公表される図は、 第 <u>1</u> 図とする。区 出願	€人が示したとお	りである。	□なし		
□ 出願	賃人は図を示さな :	かった。			
□ 本図	は発明の特徴を	一層よく表している。			

	属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) t. Cl ⁷ B23Q 3/12				
	•		<u> </u>		
	テった分野	·			
	最小限資料(国際特許分類(IPC))				
ınt	. C1' B23Q 3/12		•		
		······································			
	トの資料で調査を行った分野に含まれるもの ************************************	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
日本国実用	新案公報 1920-1996年 実用新案公報 1971-2000年				
	実用新案公報 1994-2000年	:			
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)					
			,		
	f				
	 3と認められる文献				
引用文献の	いと話のられる文献	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	関連する		
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連する。	ときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号		
Α	JP, 7-96436, A (エヌテ	ィーツール株式会社) 1 1 4	1 - 10		
	月. 1995 (11. 04. 95)				
			·		
Α	EP, 730927, A1 (NIK)	KEN KOSAKUSHO	1-10		
,	WORKS, LTD) 11. 9月.		1 10		
	P 7 右欄 4 5 - 5 4 行, 図 1 2 & J]				
	S, 5716173, A	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	•		
	· •				
	•	·			
□ C欄の続き	にも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。		
* 引用文献の		の日の後に公表された文献			
	のある文献ではなく、一般的技術水準を示す	「丁」国際出願日又は優先日後に公表さ	された文献であって		
もの.		て出願と矛盾するものではなく、	発明の原理又は理		
	預日前の出願または特許であるが、国際出願日 トキャトナイの	論の理解のために引用するもの	/******		
	会されたものこ張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行	「X」特に関連のある文献であって、当 の新規性又は進歩性がないと考え			
	は他の特別な理由を確立するために引用する	「Y」特に関連のある文献であって、当			
文献 (理	胆由を付す)	上の文献との、当業者にとって自			
	る開示、使用、展示等に言及する文献	よって進歩性がないと考えられる	560		
「P」国際出席 	日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 	「&」同一パテントファミリー文献			
国際調査を完了	した日	国際調査報告の発送日 95	.08,00		
	01.08.00	3			
国際調本機関の	0名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	3C 9133		
	特許庁(ISA/JP)	付計 荷宜 (権限 の ある 職員)			
垂	B便番号100-8915				
東京都	B千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	電話番号 03-3581-1101	内線 3324		